

古事類苑

遊戲部一

雙六

紙雙六併入  
攤意錢陶

雙六ハ、スグロクト云フ、後ニ訛リテ、スゴロクト云フ、支那ヨリ傳來セシモノニテ、盤上ノ戲  
中最モ古キモノナリ、持統天皇ノ三年ニ之ヲ禁斷セシコトアレバ、當時既ニ盛ニ行ハレシ  
コト知ルベシ、

雙六ニハ、又佛法雙六、官位雙六ノ類アリ、紙ヲ以テ盤ト爲シ、文字或ハ繪畫ヲ用キタルモノ  
ニテ、兒童婦女ノ戲玩ニ供スルモノナリ、今假ニ名ケテ紙雙六ト云ヒ、此篇ノ末ニ併載ス、  
〔倭名類聚抄四雜藝〕雙六 兼名苑云、雙六子、一名六采、今按、博奕是也、極音

〔箋注倭名類聚抄二雜藝〕大和物語所云、波久衣守、即博奕之轉、即謂雙六也、故源君謂雙六爲博奕是  
也、中略通鑑唐紀胡三省注、雙陸者、投瓊、以行十二碁、各行六碁、故謂之雙陸、按、皇國雙陸、白黑十二  
碁、都用廿四碁、與胡氏所言不同、或曰、雙六、骰子、貴二采、疊出、其目有六、所謂疊一疊二朱三朱四疊

五疊六、故名雙六、又名六采、其說亦通、

〔伊呂波字類抄須人〕雙六 スクロク 六采 六子 已上同

〔下學集下〕雙六 スクロク 博陸

〔和爾雅五〕雙六 六采 雙

〔和漢三才圖會十七〕雙陸 雙六 握槊 長行局須久

名稱